

好調選手 どう狙う!

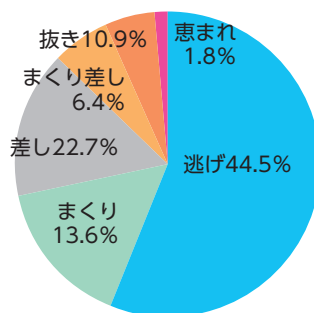


最近好調な選手の近況戦績から狙い方を考える



3623 深川真二(佐賀)

決まり手一覧



一般戦

新期は8点オーバー!
6枠の時は絶好の狙い目

表1 艇番別成績(23.9.1~24.8.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	68.6%	88.6%	92.9%	80.9%
2号艇	28.2%	56.4%	66.7%	222.1%
3号艇	32.7%	57.7%	73.1%	77.1%
4号艇	21.1%	39.5%	50.0%	28.6%
5号艇	28.9%	47.4%	57.9%	90.7%
6号艇	37.5%	60.0%	67.5%	103.1%

出場予定

10/12~10/17	丸亀	第14回琴参バスカップ
10/22~10/27	戸田	第71回ボートレースダービー
10/31~11/4	浜名湖	BTS玉川26周年記念 Wave21杯

24年前期、24年後期は勝率6点台にとどまっていた深川真二だが、5月から新期は9月末時点で8点以上とものすごい成績を残している。深川はダービーには今年で13年連続で出場予定と、元々高い勝率を残す選手ではあったが、新期の充実ぶりは素晴らしいの一語に尽きる。何が変わったのか。データ面

から1着率の増加は顕著だ。24年前期は29・7%、24年後期は32・6%だった1着率が、新期は残り約1か月となった現時点で50%を余裕で超えている。3連対率にしても前期の66・6%から新期は80%オーバー。つまり1着が増え、着外は減っている。死角なしというのか、舟券を買う際は、買わないという理由が浮かばない。

その中でもいかに狙うかを考えていこう。まず艇番別の回収率を見ると2号艇時と6号艇時が100%を超えているのが分かる。特に6号艇時は1着率が1号艇時の次に高いというのが深川らしい。4号艇よりも5号艇、5号艇よりも6号艇の時に1着率が高くなっているということは覚えておきたい。外枠に組まれるほど深川は狙える。対して2号艇時は回収率こそ高いが、1着率は4号艇時に次いで2番目に低いので過信はできない。

以前深川は本誌の取材で、グランプリに出場した17年にクジで2号艇を引いた時「全然面白くなかった。全部6号艇でもいいのにと考えた」と話していた。深川にとって2号艇は中途半端な位置という思いがあったという。だがその2号艇から高い回収率を残しているのは、たまたまなのかそうでないのか、注意深く追ってみたい。

5129 山口真喜子(長崎)

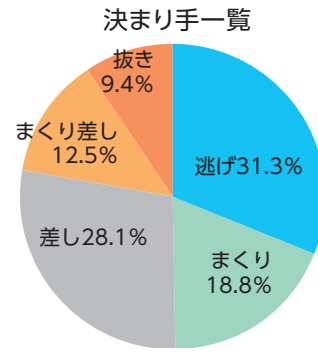


表2 艇番別成績(23.9.1~24.8.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	35.5%	41.9%	51.6%	51.7%
2号艇	16.3%	34.9%	53.5%	91.9%
3号艇	9.5%	38.1%	64.3%	50.2%
4号艇	17.1%	45.7%	62.9%	120.2%
5号艇	7.7%	15.4%	41.0%	147.2%
6号艇	2.9%	8.6%	34.3%	27.7%

出場予定

10/6~10/11	徳山	日刊スポーツ杯争奪徳山オールレディース
10/20~10/25	蒲郡	VS第15戦 ムーンライトプリンセス決定戦
11/3~11/8	大村	創刊75周年記念 日刊スポーツ杯&ニッカン・コム杯



女子戦

少し前の話にはなるが、大村のお盆開催での山口真喜子は素晴らしい活躍ぶりを見せつけていた。節一級にエンジン仕を仕上げなんと予選得点トップで準優勝進出戦へとコマを進めた。いくら節一とは言え、長崎支部の諸先輩方を押しつけての予選トップに、度肝を抜かれたファンも多かったのではないだろうか。

山口の狙い方だが、1号艇で迎えたお盆開催準優勝進出戦でもスタートで遅れ3着に敗れたように、イン戦でまだ安定感はない。狙うべきは2号艇と4号艇。1着から3着までまんべんなく取っているのがボックスで買いたい。9月の地元大村オール女子戦は2号艇時に1着、2着、4着、4号艇時に1着、2着と好成績を残した。この節に2号艇で勝った時はまくっているが、基本2コースから勝つ時は差しが多い。しかしなぜか1号艇が飛んで穴になるケースが多かったのて手広く流しておきたい。4号艇での1着時は逆に1号艇が残るケースが多かった。

5号艇時は回収率が高くなっているが、これは大穴に引張られてのものなので狙うなら1着よりも3着で。3着率は25%以上ある。6号艇時も同じく3着で狙える。

お盆開催で覚醒！
外枠時に3着狙いで！

5185 加藤優弥(福井)

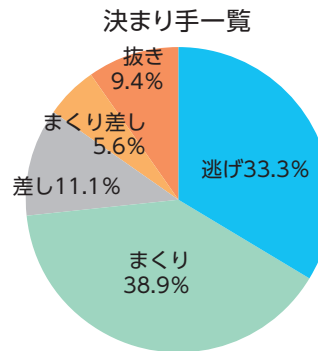


表3 艇番別成績(23.9.1~24.8.31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	29.2%	62.5%	66.7%	43.3%
2号艇	13.5%	35.1%	51.4%	92.3%
3号艇	8.6%	37.1%	60.0%	54.5%
4号艇	2.6%	26.3%	57.9%	50.5%
5号艇	2.8%	8.3%	47.2%	56.4%
6号艇	3.2%	3.2%	12.9%	25.1%

出場予定

10/8~10/13	戸田	スカーパー!・JLC杯戸田ルーキーシリーズ第15戦
10/26~10/29	常滑	日本空調システム杯
11/3~11/8	津	第16回鳥羽一郎杯争奪戦



ルーキー

福井支部の加藤優弥は現在B1級。デビューからこれまで少しずつ確実に勝率を上げてきたが、新期、ついにA級へと駆け上がるつもりだ。

もちろん1着が以前よりも増えてきているのは確かだが、それ以上に注目したいのは2着、3着が増えていること。

前期は2連対率が23・9%、3連対率が41・6%だったが、新期は9月末時点で2連対率が約34%、3連対率が約63%とかなり増加した。粘って3着になりというレースがかなり多くなってきたと言える。

現時点では1着の回収率を見ると頭で勝負は厳しいと言わざるを得ないが、2着や3着ならむしろ狙っていききたい。3号艇時と4号艇時はいずれも50%以上で2着か3着になっているので特に狙いたい。

そして5号艇時は、過去1年で約39%で3着になっている。5号艇時は3着固定で狙うぐらいで良さそうだ。

その反面、6号艇時は対象期間の31走中28走で6着と大苦戦中だ。ここは切りが正解か。

飛田江己や中野仁照といった同期が飛躍していく中、加藤もそこに置いていかれないよう、ここが正念場となる。

センター枠で2、3着
確実に成績は上昇中！